

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果

京都市立二条中学校

4月22日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と数学の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力の関係など、本校の子どもたちの状況についてお伝えします。

総合結果（国語・数学）

	国語 A(知識)	国語 B(活用)	数学 A(知識)	数学 B(活用)
全国	79.4	51.0	67.4	59.8
京都府	79.4	51.3	67.7	60.1

本校では、全国平均より若干下回っているものがあるが、およそ平均並みです。各教科や生徒質問紙については、以下のとおりです。

国語科より

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域では平均を上回っています。しかし、漢字や語句（慣用句や敬語）、歴史的仮名遣いや文法はやや下回っているので、しっかり復習しましょう。

また、文章の構成や表現の仕方などについては、根拠を明確にして自分の考えを書いたり、資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くといった活動に力を入れて取り組みましょう。

数学科より

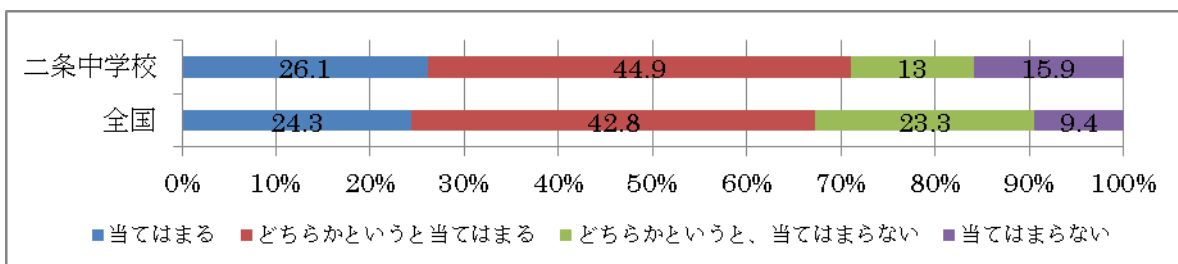
全体としては、数学 A,Bともに観点によっては課題がみられます。

Aの「数と式」「図形」「関数」では差は僅かである。「資料の活用」が10ポイント下回っているので課題です。

Bの「数と式」でもやや下回っていて、具体的には、「文字を使って説明する」ことに今後力を入れましょう。ただ、Bの「資料の活用」では上回っている。今後は1,2年の復習する機会を増やしていきましょう。

生徒質問紙調査から①

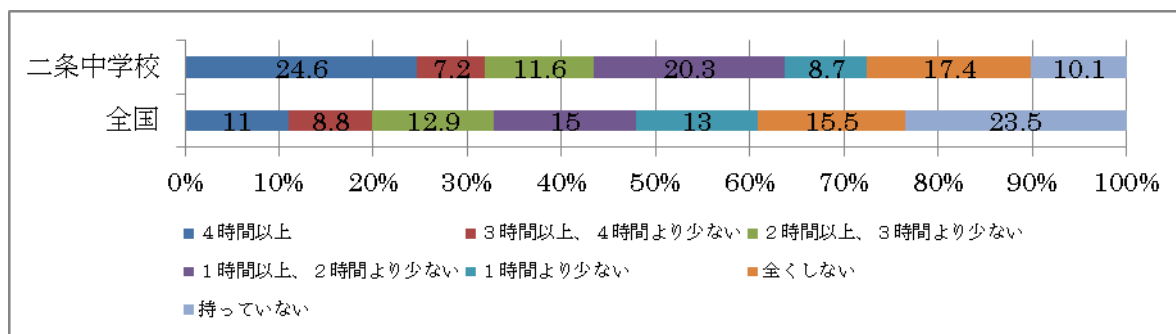
1. 自分には良いところがありますか。



自分に「良いところがある」生徒の割合が、全国平均を上回っています。日々の授業や部活動、生徒会活動など積極的に活動しています。自分の良さや可能性をさらに伸ばしてほしいと思います。

生徒質問紙調査から②

2. 普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

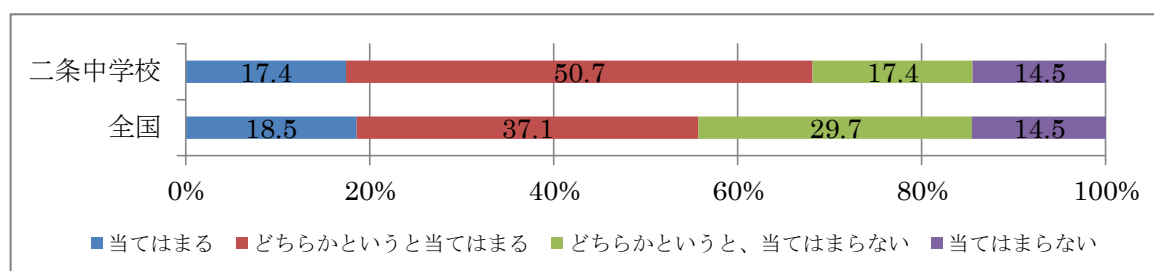


4時間以上している生徒の割合が24.6ポイントと多いです。一方、持っていない生徒は10人に1人という割合で、全国平均よりも低いです。

使用時間が長いほど成績が低い傾向も浮かんでいます。各家庭で、持たせる際のルール（使用方法や時間など）を決め、持たせる以上は有効に活用するようお願いします。

生徒質問紙調査から③

3. 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。



地域や社会で起こっている出来事に関心がある生徒が68.3ポイントと全国平均を上回っています。一層関心を高め、それに対する自分の意見や考えを持ってほしいと思います。また、それを文章にまとめる練習などをすると、常に頭が鍛えられるので、各教科の学習にも良い影響が出るようです。

また、中学校では、常時新聞が読める環境を整えています。新聞を読む生徒の方が正答率が高い結果も出ています。日常の生活の中に、新聞を読む習慣も取り入れてほしいと思います。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの状況を知り、子どもたちの可能性を更にのばしたり、課題を明確にし解決していくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、規則正しい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると学力は確実に定着してきているといえ、ご家庭での積極的な関わりや指導・支援の成果が表れてきています。今後とも本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。